

月次改訂

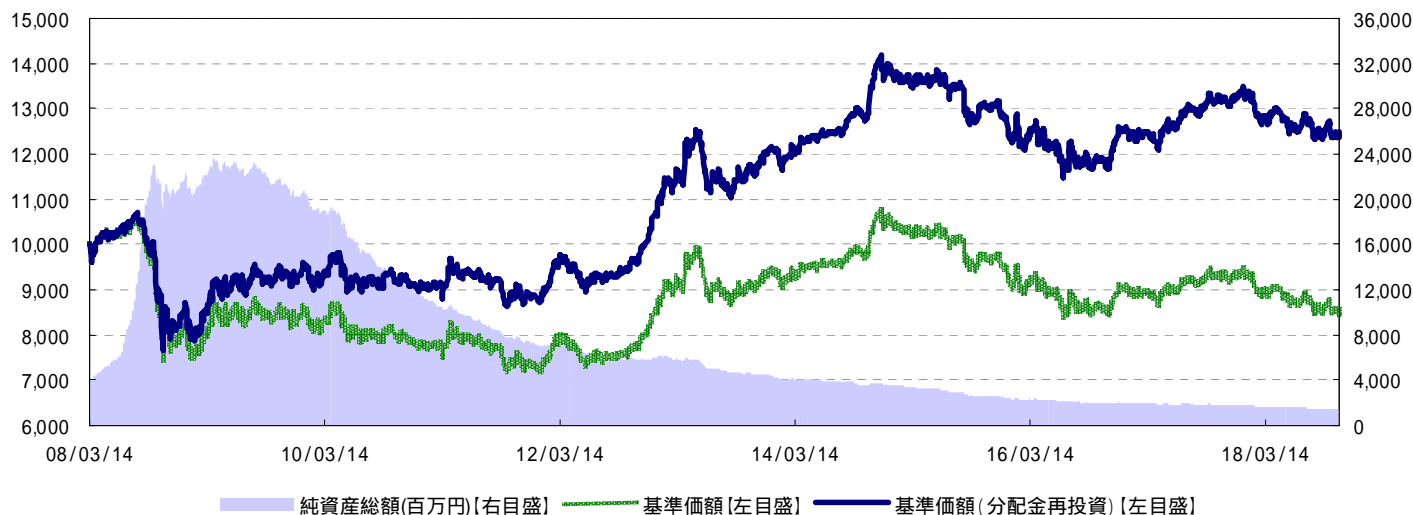
2018 / 10

グローバル・ボンド・ベーシック(毎月決算型)

追加型投信/海外/債券

運用状況等

基準価額の推移



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日前営業日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬控除後の値です。
- ・信託報酬率については、後記の「ファンドの費用・税金」に記載しています。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

ファンドの現況

	2018/10/31	前月末	前月末比
基準価額	8,561円	8,735円	-174円
純資産総額(百万円)	1,452	1,501	-49

	基準価額	日付
設定来高値	10,802円	2014/12/08
設定来安値	7,212円	2011/11/24

運用資産構成

	2018/10/31	前月末	前月末比
先進国債券	75.17%	75.04%	0.12%
新興国債券	24.63%	24.75%	-0.12%
短期金融資産	0.21%	0.21%	-0.00%

- ・比率は純資産総額に対する投資信託証券の割合です。
- ・先進国3地域債券マザーファンドを「先進国債券」、ビムコケイマン エマージングローカル ボンド ファンド(JPY)を「新興国債券」と表示しています。

騰落率

ファンド	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
	-1.76%	-1.67%	-3.56%	-5.02%	-4.15%	24.70%

- ・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。
- ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。
基準価額および分配金は1万円当たりです。

後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

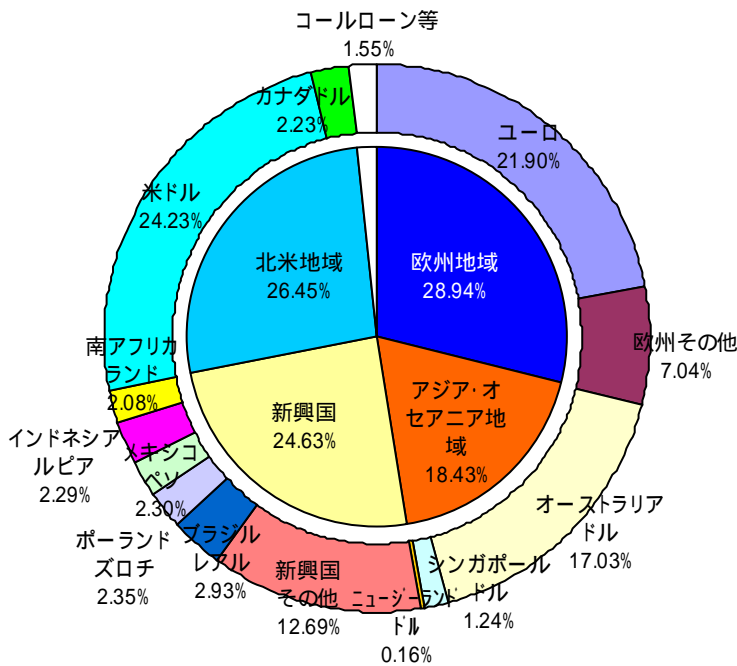
グローバル・ボンド・ベーシック(毎月決算型)

分配金実績(税引前)

設定来累計					
3,250 円					
第125期 (18/10/16)	第124期 (18/09/18)	第123期 (18/08/16)	第122期 (18/07/17)	第121期 (18/06/18)	第120期 (18/05/16)
20 円	20 円	20 円	20 円	20 円	20 円
第119期 (18/04/16)	第118期 (18/03/16)	第117期 (18/02/16)	第116期 (18/01/16)	第115期 (17/12/18)	第114期 (17/11/16)
20 円	20 円	20 円	20 円	20 円	20 円
第113期 (17/10/16)	第112期 (17/09/19)	第111期 (17/08/16)	第110期 (17/07/18)	第109期 (17/06/16)	第108期 (17/05/16)
20 円	20 円	20 円	20 円	20 円	20 円
第107期 (17/04/17)	第106期 (17/03/16)	第105期 (17/02/16)	第104期 (17/01/16)	第103期 (16/12/16)	第102期 (16/11/16)
20 円	20 円	20 円	20 円	20 円	20 円
第101期 (16/10/17)	第100期 (16/09/16)	第99期 (16/08/16)	第98期 (16/07/19)	第97期 (16/06/16)	第96期 (16/05/16)
20 円	20 円	20 円	20 円	20 円	20 円
第95期 (16/04/18)	第94期 (16/03/16)	第93期 (16/02/16)	第92期 (16/01/18)	第91期 (15/12/16)	第90期 (15/11/16)
20 円	20 円	20 円	20 円	20 円	20 円

・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

通貨(地域)配分



- ・通貨配分は、地域別(内側)および各地域の主要通貨別(外側)の純資産総額に対する実質的な割合を表示しています。
- ・新興国(内側)は、組み入れている投資信託証券であるビムコ ケイマン エマージング ローカル ボンド ファンド J(JPY)の純資産総額に対する割合です。
- ・新興国通貨(外側)はビムコ ケイマン エマージング ローカル ボンド ファンド J(JPY)に組み入れている各通貨のうち上位5通貨を具体名で表示しています。
- ・コールローン等は、当ファンドが保有する現金・短期金融資産等(円)の実質的な割合です(ただし、ビムコ ケイマン エマージング ローカル ボンド ファンド J(JPY)が保有する現金・短期金融資産等は新興国その他に含みます)。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。
基準価額および分配金は1万円当たりです。

後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

グローバル・ボンド・ベーシック(毎月決算型)

【参 考】

過去1年間の基準価額の変動要因分析(概算値)

[各ファンドにおける債券要因および為替要因の内訳]

日付	基準価額 (分配前後)	前月末比	(単位:円)				(単位:円)			
			債券(金利) 要因	為替要因	その他 (信託報酬等)	分配金	先進国債券		新興国債券【参考】	
							債券	為替	債券	為替
2017/11	9,236	24	57	51	10	20	48	52	9	1
2017/12	9,386	150	9	171	10	20	14	135	23	36
2018/01	9,237	149	26	91	12	20	52	83	26	8
2018/02	8,977	260	6	237	9	20	16	192	22	45
2018/03	8,976	1	130	102	9	20	107	70	23	32
2018/04	9,001	25	64	119	10	20	64	120	0	1
2018/05	8,693	308	37	240	11	20	9	144	28	96
2018/06	8,669	24	6	0	10	20	22	31	16	31
2018/07	8,768	99	2	128	11	20	19	71	21	57
2018/08	8,586	182	10	162	10	20	31	52	21	110
2018/09	8,735	149	37	215	9	20	40	138	3	77
2018/10	8,561	174	9	152	11	20	2	111	7	41

・「過去1年間の基準価額の変動要因分析(概算値)」は、各要因が基準価額に与えた影響をご理解いただくために簡便的に計算した概算値であり、その正確性、完全性等を保証するものではありません。
 ・四捨五入のため全体計と内訳の合計が相違することがあります。

債券(金利)要因および為替要因につきましては、当ファンドが組み入れている「先進国債券」(先進国3地域債券マザーファンド)および「新興国債券」(ビムコケイマン エマージング ローカル ボンド ファンド J(JPY))をファンド単位でそれぞれ算出し合算したものです。「新興国債券」部分は債券要因および為替要因をビムコ社の算出方法により按分されたものを使用しています。なお、算出方法が異なるデータを使用しているため、【参考】として表示しました。

利回り・デュレーション

最終利回り	3.54%
直接利回り	3.37%
デュレーション	6.56年

・最終利回りは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回り等を加重平均したものです。
 ・直接利回りは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
 ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
 ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

債券の格付分布

格付種類	比率
AAA	51.98%
AA	6.97%
A	19.10%
BBB	15.47%
BB	1.25%
B	1.18%
CCC以下	0.00%

・比率は純資産総額に対する割合です。
 ・格付分布はS&P社、Moody's社のうち最も高い格付を表示しています。
 ・新興国債券においては、上記2社の格付を取得していない場合、フィッチ・レーティングス社またはビムコ社による独自の格付を採用します。また、米国短期国債などビムコ社が現金同等資産と判断した債券等を除いて算出しています。

「利回り・デュレーション」「債券の格付分布」は、当ファンドが組み入れている先進国債券(先進国3地域債券マザーファンド)および新興国債券(ビムコケイマン エマージング ローカル ボンド ファンド J(JPY))の値をそれぞれのファンドへの組入比率で按分して合算したものです。新興国債券(ビムコケイマン エマージング ローカル ボンド ファンド J(JPY))は、ビムコ社から提供されたデータ(現地月末基準)を基に算出しています。基準(基準日、格付分類等)が異なるデータから算出しているため、【参考】として表示しました。先進国債券(先進国3地域債券マザーファンド)および新興国債券(ビムコケイマン エマージング ローカル ボンド ファンド J(JPY))の合算前の数値につきましては、各ファンドの運用状況の項をご参照ください。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。
 基準価額および分配金は1万口当たりです。

後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

グローバル・ボンド・ベーシック(毎月決算型)

当ファンドが組み入れている投資信託証券の運用状況

先進国3地域債券マザーファンド

基準価額の推移



・基準価額はグローバル・ボンド・ベーシック(毎月決算型)の設定日を10,000として指数化しています。

騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-1.68%	-0.52%	-1.26%	-3.17%	-2.08%	44.65%

・設定来(各期間の騰落率)はグローバル・ボンド・ベーシック(毎月決算型)の運用期間に応じたものです。

利回り・デュレーション

最終利回り	2.16%
直接利回り	2.72%
デュレーション	7.10年

- ・数値は、債券現物部分について計算しています。
- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

債券の格付分布

格付種類	比率
AAA格	69.00%
AA格	8.26%
A格	12.40%
BBB格	8.55%
BB格以下	0.00%
無格付	0.00%

- ・比率は純資産総額に対する割合です。
- ・格付の振分基準は、以下の通りです。
 - ・AA格(AA+, AA, AA-, Aa1, Aa2, Aa3)
 - ・A格(A+, A, A-, A1, A2, A3)
 - ・BBB格(BBB+, BBB, BBB-, Baa1, Baa2, Baa3)
 - ・BB格(BB+, BB, BB-, Ba1, Ba2, Ba3)
- ・原則として、個別銘柄格付を採用しておりますが、例外的に国債、地方債ならびに政府保証のある債券などについては、弊社の分類基準に基づいて、ソブリン格付(国の発行体格付)を採用しているものがあります。
- ・格付分布はS & P社、Moody's社のうち最も高い格付を表示しています。

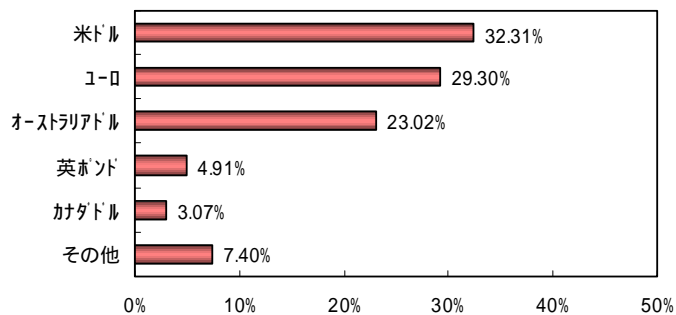
表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。
基準価額および分配金は1万円当たりです。

後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

グローバル・ボンド・ベーシック(毎月決算型)

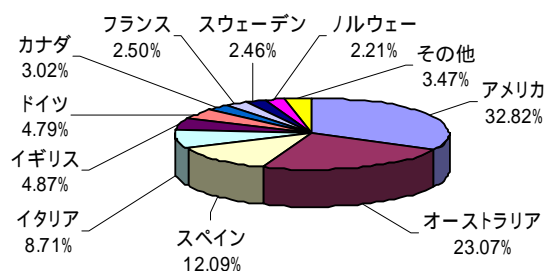
先進国3地域債券マザーファンド

通貨別組入比率



・比率は、[外貨建て純資産 - 為替ヘッジ]で計算しており、通貨別に見た実質比率を表します。

組入上位10カ国



・比率は現物債券評価額に対する割合です。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。
基準価額および分配金は1万口当たりです。

後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

グローバル・ボンド・ベーシック(毎月決算型)

ピムコ ケイマン エマージング ローカル ボンド ファンド J (JPY)

基準価額の推移



・基準価額はグローバル・ボンド・ベーシック(毎月決算型)の設定日を、ベンチマークは設定日翌営業日を10,000として指数化しています。

ベンチマークはJPモルガンGBI - EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)です。
 JPモルガンGBI - EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建ての
 エマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により
 構成されています。JPモルガンGBI - EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)は、JPモルガンGBI - EMグローバル・ダイバーシファイドをもとに、J.
 P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが計算したものです。当指数の著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-1.59%	-3.95%	-8.02%	-5.95%	4.21%	33.64%
ベンチマーク	-1.85%	-3.67%	-7.75%	-6.55%	2.80%	39.77%
差	0.26%	-0.28%	-0.27%	0.60%	1.41%	-6.13%

- ・設定来(各期間の騰落率)はグローバル・ボンド・ベーシック(毎月決算型)の運用期間に応じたものです。
- ・設定来のファンドの騰落率は10,000を起点として計算しています。
- ・ベンチマークの設定来騰落率は、グローバル・ボンド・ベーシック(毎月決算型)の設定日翌営業日の指数を起点として計算しています。
- ・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したもとして計算しております。

利回り・デュレーション

最終利回り	7.81%
直接利回り	5.40%
デュレーション	4.96年

- ・最終利回りは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回り等を加重平均したものです。
- ・直接利回りは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ・効率的な運用に資するため、デリバティブ取引を活用することがあります。

ピムコ ケイマン エマージング ローカル ボンド ファンド J (JPY)の運用会社であるピムコ社の資料(現地月末基準)に基づき作成したものです。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。
 基準価額および分配金は1万口当たりです。

後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

グローバル・ボンド・ベーシック(毎月決算型)

ビムコケイマン エマージング ローカル ボンド ファンド J (JPY)

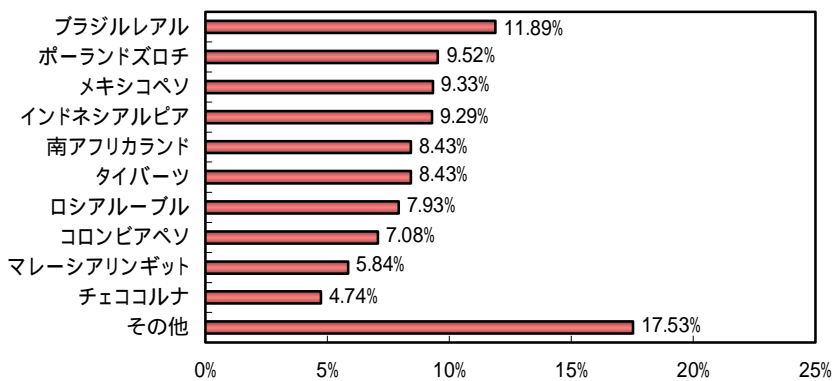
ビムコケイマン エマージング ローカル ボンド ファンド J (JPY)の運用会社であるビムコ社の資料(現地月末基準)に基づき作成したものです。

債券の格付分布

格付種類	比率
AAA	0.46%
AA	3.12%
A	39.72%
BBB	36.71%
BB	5.09%
B	4.79%
CCC以下	0.00%

- ・比率は純資産総額に対する割合です。
- ・格付分布はS&P社、Moody's社のうち最も高い格付を表示しています。
- ・上記2社の格付を取得していない場合は、フィッチ・レーティングス社またはビムコ社による独自の格付を採用します。
- ・先物取引、スワップ取引、オプション取引を考慮して算出しているため、取引内容によってはマイナスの値が表示されることがあります。
- ・米国短期国債などビムコ社が現金同等資産と判断した債券等を除いた比率を表示しています。

通貨別組入比率



- ・比率は、通貨別にみた実質比率を表します。
- ・効率的な運用に資するため、デリバティブ取引を活用することがあります。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。
基準価額および分配金は1万口当たりです。

後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

グローバル・ボンド・ベーシック(毎月決算型)

運用担当者コメント

運用状況

【先進国通貨が対円で概ね下落したこと等から、基準価額(分配金再投資)は下落】

10月末の基準価額は、前月比で1.76%の下落となりました。当月は、先進国通貨が対円で概ね下落したこと等を背景に、先進国3地域債券マザーファンドが下落したこと等から、基準価額は下落しました。
 当月末時点の組入比率は、先進国3地域債券マザーファンドは概ね75%程度、ピムコケイマン エマージング ローカル ボンド ファンド J (JPY) は概ね25%程度と基本配分比率に準じた結果となりました。今後も同比率を維持する方針です。なお、10月の収益分配金は基準価額の水準等を考慮し、1万口当たり20円とさせていただきます。(運用担当者:道井)

市況動向

先進国債券・為替市況【債券市況は米国で下落、欧州(ドイツ)、豪州で上昇、為替市況は米ドル・ユーロ・豪ドルは対円で下落】

当月の先進国長期金利は、米国で上昇、欧州(ドイツ)、豪州で低下しました。先進国長期金利は、米国で発表された一部の経済指標が堅調な結果となったことや、米国の利上げ観測が高まったことなどから、上昇して始まりました。その後、米中貿易摩擦に対する懸念などを背景に世界的に株式市場が下落し、投資家のリスクセンチメントが悪化したことなどから先進国長期金利は低下した結果、前月末との対比では米国長期金利は上昇した一方、欧州(ドイツ)や豪州の長期金利は低下しました。為替市場では、上記投資家のリスクセンチメント悪化などから、米ドル・ユーロ・豪ドルは対円で下落しました。

新興国債券・為替市況【現地通貨建て新興国債券市況はまちまち、新興国通貨は対円で一部を除き下落、】

当月の新興国債券市況(JPモルガンGBI-EMグローバルダイバーシファイド(円ベース))は、現地通貨建て新興国債券市況はまちまちだったものの、新興国通貨が一部を除いて対円で下落したことなどから下落しました。新興国債券市況は、米国人牧師の釈放を受けて米国との関係改善に対する期待が高まったことなどから、トルコ債券市況が上昇しました。新興国通貨は、10月のブラジル大統領選挙で相対的に市場寄りとされるボルソナロ氏が市場予想よりも高い支持を得たことや議会選挙でボルソナロ氏が所属する政党が躍進したことなどが好感され、ブラジルレアルが対円で上昇しました。

組み入れファンドの運用状況

先進国3地域債券マザーファンド【デュレーションは欧州で中立を維持、米国は長めから中立に変更、豪州は中立から長めでコントロール、地域別の通貨アロケーションは、インデックス対比で北米を多め、アジア・オセアニアを少なめで維持する一方、欧州を少なめから多めに変更】

各地域の各国投資比率については、投資通貨をベースに、FTSE世界国債インデックス(ニュージーランド含む、JPモルガンGBI-EMグローバルダイバーシファイド採用国および日本を除く)の各国の時価総額比率を参考としています。
 各地域毎のインデックス対比での組入比率については、北米を多め、アジア・オセアニアを少なめで維持する一方、欧州を少なめから多めに変更しました。各通貨毎のインデックス対比での組入比率については、米ドルを多め、豪ドルを少なめで維持する一方、カナダドル、スウェーデンクローナを中立から多め、ユーロを少なめから多め、ニュージーランドドル、シンガポールドルを中立から少なめに変更しました。その他通貨は概ね中立で維持しました。また、各通貨のデュレーション(平均回収期間)については、欧州でインデックス対比中立を維持する一方、米国は長めから中立に変更、豪州は中立から長めでコントロールしました。その他通貨のデュレーションは概ねインデックス並みでコントロールしました。

ピムコケイマン エマージング ローカル ボンド ファンド J (JPY)【ブラジルレアル、ポーランドズロチ、メキシコペソなどに配分】

通貨別では、ブラジルレアル、ポーランドズロチ、メキシコペソなどを中心に配分しています。当ファンドの基準価額(分配金再投資)は、新興国通貨が一部を除き対円で下落したことなどから、前月末と比較して下落しました。ベンチマークとの比較では、ブラジルレアルへの積極姿勢などがプラスに寄与しました。

ピムコケイマン エマージング ローカル ボンド ファンド J (JPY)のコメントは、同ファンドの運用会社であるピムコ社の資料に基づき作成しております。

コメントは作成時点のものであり将来予告なく変更されることがあります。
 また、将来の市場環境の変化または運用成果等を保証するものではありません。なお、市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

グローバル・ボンド・ベーシック(毎月決算型)
運用担当者コメント
組み入れファンドの今後の運用方針
先進国3地域債券マザーファンド【債券デュレーションは機動的に調整。通貨配分は必要に応じて現行比率を調整】

当面の先進国長期金利は、もみ合いの展開を想定します。米国では、米連邦公開市場委員会(FOMC)が、米経済は力強い速度で拡大していると見ており、政策金利誘導目標の更なる引き上げを目指している一方で、トランプ政権の通商政策や利上げ継続などに伴う先行きの景気減速懸念も予想されるため、長期金利はもみ合う展開を見込みます。欧州では、今後も潜在成長率以上の成長が期待される一方、コアのインフレ圧力は抑制された状況が続くものと考えます。欧州中央銀行(ECB)は、現在の主要政策金利を少なくとも2019年夏まで維持することや満期が到来した債券などの再投資を当面続ける方針を示していることなどから、債券市場の需給環境は引き続き良好なことが見込まれます。豪州では、国内の物価動向が豪州連邦準備銀行(RBA)のインフレターゲット(年2-3%)の下限近辺で推移していることに加え、家計の債務比率が高水準にある中、RBAは当面金融政策を据え置き、国内消費動向・資産価格動向などを慎重に見極めていくものと考えます。こうした見通しの下、債券デュレーションは現行の方針を基本に機動的に調整します。通貨配分では、必要に応じて現行比率の調整を行います。(運用担当者:市川)

ビムコケイマン エマージング ローカル ボンド ファンド J(JPY)【新興国間での国別選択に留意しつつ投資機会を模索】

多くの新興国で対外債務などの観点でファンダメンタルズの改善が図られたことやコモディティ輸出に対する依存度の低下などに加え、先進国の低いインフレ圧力などが新興国への投資を下支えするものと考えられます。また、新興国の相対的に高い利回り水準や新興国に対する懸念が高まった局面での資産価格の調整などにより、バリュエーションの観点で投資妙味が高まっていると考えています。しかし、世界的に成長率の減速が見込まれる環境下において、ポピュリズムの台頭リスクが増大しており、各国の通商政策の不確実性の高まりには引き続き注意が必要と考えています。こうした前提を踏まえた上で、新興国への投資に関しては、先進国をはじめとする各国の通商政策などがもたらす影響を見極め、投資国を選択することが重要であると考えています。(運用会社:ビムコ)

ビムコケイマン エマージング ローカル ボンド ファンド J(JPY)のコメントは、同ファンドの運用会社であるビムコ社の資料に基づき作成しております。

コメントは作成時点のものであり将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変化または運用成果等を保証するものではありません。なお、市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

収益分配金に関する留意事項

分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託から分配金が支払われるイメージ

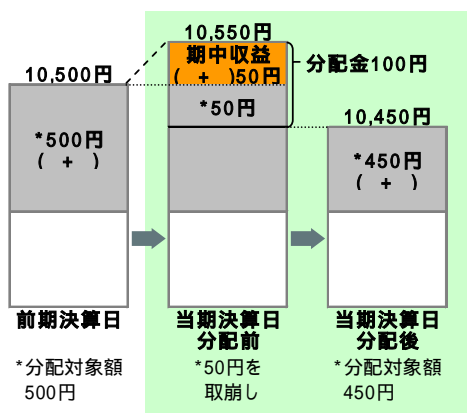


分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

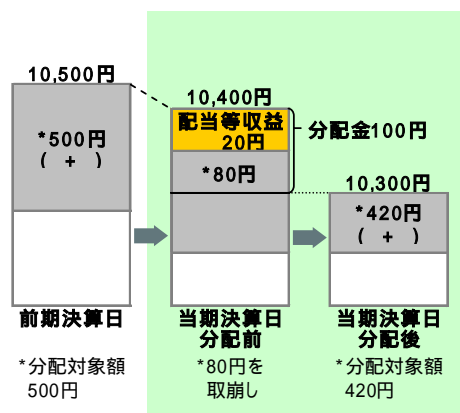
分配対象額は、経費控除後の配当等収益および経費控除後の評価益を含む売買益ならびに分配準備積立金および収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



前期決算日から基準価額が下落した場合



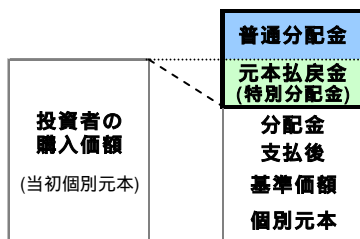
上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

分配準備積立金: 当期の経費控除後の配当等収益および経費控除後の評価益を含む売買益のうち、当期分配金として支払わなかった残りの金額をいいます。信託財産に留保され、次期以降の分配金の支払いに充当できる分配対象額となります。

収益調整金: 追加型投資信託で追加設定が行われることによって、既存の受益者への収益分配可能額が薄まらないようにするために設けられた勘定です。

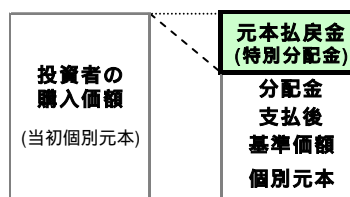
投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりの方が小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金: 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

購入時手数料に関する留意事項

お客さまにご負担いただく購入時手数料の具体例は以下の通りです。販売会社によっては金額指定、口数指定どちらかのみのお取扱いになる場合があります。くわしくは、販売会社にご確認ください。

[金額を指定して購入する場合]

購入金額に購入時手数料を加えた額が指定金額となるよう購入口数を計算します。例えば、100万円の金額指定でご購入いただく場合、100万円の中から購入時手数料(税込)をご負担いただきますので、100万円全額が当該ファンドの購入金額となるものではありません。

[口数を指定して購入する場合]

例えば、基準価額10,000円(1万口当たり)の時に100万口ご購入いただく場合、購入時手数料 = (10,000円 ÷ 1万口) × 100万口 × 手数料率(税込)となり、100万円と購入時手数料の合計額をお支払いいただくことになります。

グローバル・ボンド・ベーシック (毎月決算型)

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

日本を除く世界の国債等を実質的な主要投資対象とし、幅広く分散投資を行い安定した収益の確保をめざします。

ファンドの特色

特色1 日本を除く世界の国債等を実質的な主要投資対象とし、幅広く分散投資を行います。

- ・ファンド・オブ・ファンズ方式により、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。
- ・実質的な組入外貨建資産については原則として為替ヘッジを行わないため、為替相場の変動による影響を受けます。

特色2 日本を除く先進国3地域(北米地域、欧州地域、アジア・オセアニア地域)と新興国の4つの投資先に投資します。

- ・日本を除く先進国3地域(75%)部分は、「先進国3地域債券マザーファンド」を通じて投資を行います。
- ・日本を除く先進国3地域(75%)部分では、地域/通貨分散を目的として、投資通貨をベースに各地域への均等投資を基本投資割合とします。政治・経済環境に応じ、委託会社の判断で地域別の配分を±10%の範囲内で変動させることがあります。
- ・新興国(25%)部分は、ビムコ社が運用する外国投資信託「ビムコケイマン エマージング ローカル ボンド ファンド」(JPY)を通じて投資を行います。
- ・「ビムコケイマン エマージング ローカル ボンド ファンド」(JPY)の投資信託証券への運用の指図に関する権限は、ビムコジャパンリミテッドに委託します。
- ・銘柄選定は、各国のマクロ分析や金利予測等に基づいて行います。

特色3 毎月の分配をめざします。

- ・毎月16日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定するものとします。
- ・分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。また、分配金額は運用実績に応じて変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

ファンドの仕組み

<投資対象ファンド>

先進国3地域債券マザーファンド

ビムコケイマン エマージング ローカル ボンド ファンド」(JPY)

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

投資リスク

基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

価格変動 リスク	一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、ファンドはその影響を受け組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。
為替変動 リスク	組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。
信用 リスク	組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。
流動性 リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。
カントリー・ リスク	新興国への投資は、先進国への投資を行う場合に比べ、投資対象国におけるクーデターや重大な政治体制の変更、資産凍結を含む重大な規制の導入、政府のデフォルト等の発生による影響を受けることにより、価格変動・為替変動・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

その他の留意点

- ・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

グローバル・ボンド・ベーシック(毎月決算型)

手続・手数料等

お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位 / 販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
換金単位	販売会社が定める単位 / 販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込不可日	次のいずれかに該当する日には、購入・換金はできません。 ・ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行、ロンドン証券取引所、ロンドンの銀行の休業日 ・ニューヨーク、ロンドンにおける債券市場の取引停止日 具体的な日付については、委託会社のホームページ(「ファンド関連情報」内の「お申込み不可日一覧」)をご覧ください。
申込締切時間	原則として、午後3時までには販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情(投資対象国における非常事態(金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等)による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少等)があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。
信託期間	無期限(2008年3月14日設定)
繰上償還	受益権の口数が50億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。
決算日	毎月16日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎月の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人受益者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

グローバル・ボンド・ベーシック(毎月決算型)

手続・手数料等

ファンドの費用

お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料 購入価額に対して、**上限2.16%(税抜2%)**(販売会社が定めます)
(購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)

信託財産留保額 ありません。

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬) 日々の純資産総額に対して、**年率1.296%(税抜年率1.2%)**をかけた額
ファンドが投資対象とする投資信託証券では運用管理費用(信託報酬)はかかりませんので、お客さまが負担する
実質的な運用管理費用(信託報酬)は上記と同じです。

その他の費用・手数料 監査法人に支払われるファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・投資
対象とする投資信託証券における諸費用および税金等・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払
われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についてもファンドが負担します。
上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することは
できません。

運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。
なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

本資料のご利用にあたっての注意事項等

本資料は、三菱UFJ国際投信が作成した資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。本資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ国際投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号

加入協会: 一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会

<ホームページアドレス> <https://www.am.muftg.jp/>

<お客さま専用フリーダイヤル> 0120 - 151034

(受付時間 営業日の9:00 ~ 17:00)

受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ信託銀行株式会社

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

販売会社情報一覧表

ファンド名称: グローバル・ボンド・ベーシック(毎月決算型)

商号	登録番号等		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
株式会社 池田泉州銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第6号				
株式会社 SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号				
株式会社 鹿児島銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第2号				
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号				
九州FG証券株式会社	金融商品取引業者	九州財務局長(金商)第18号				
株式会社 きらぼし銀行(*)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第53号				
ごうぎん証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第43号				
株式会社 山陰合同銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第1号				
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第10号				
株式会社 千葉銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第39号				
株式会社 栃木銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第57号				
株式会社 百十四銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第5号				
株式会社 北海道銀行	登録金融機関	北海道財務局長(登金)第1号				
株式会社 三菱UFJ銀行(*)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号				
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第33号				
株式会社 宮崎銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第5号				
株式会社 山梨中央銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第41号				
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号				

商号欄に(*)の表示がある場合、新規申込のお取扱いを中止しております。